

FP 製造業スナップショット：調査でメキシコ進出の業界メリットが判明 - ただし支援が不可欠

メキシコへのビジネス拡大に関する最近の FP フラッシュ調査で、国境を越えた事業運営に関する雇用主の態度と経験について注目すべきデータが明らかになりました - この話題は特に製造業界の関心を集めています。製造業からの回答を他のデータから分離して分析すると、製造業者はメキシコへの進出により主要な利点を享受していますが、その成功を達成するには専門的な支援が不可欠であることが明確になりました。自社の潜在的な取り組みに活用するために、この結果について何を知っておく必要があるでしょうか。

コスト削減 + 労働力へのアクセス：製造業者に顕著なメリット

調査全体と比較すると、製造業者はメキシコでの事業運営によって製造コストの削減においてより大きな成功を報告しています。雇用主全体の 4 割しかメキシコへの事業移転の利点としてコスト削減を挙げていないのに対し、製造業者の実に 60%が実際にコスト削減を享受したと回答しています。

また、製造業者は、メキシコ進出の利点として、熟練労働力へのアクセスを挙げる割合が、雇用主全体よりやや高い結果となっています。雇用主全体の 49%が熟練労働力へのアクセスを享受していると報告しているのに対し、製造業者の 55%がそのような利点を得たと回答しています。

コンプライアンスへの深刻な課題

雇用主全体の大多数（84%）が、新しいメキシコの労働法環境への対応に課題を感じていると回答しています。しかし、製造業界の回答者だけを抽出すると、この数字は 100%に跳ね上がります。言い換えれば、メキシコで事業を展開しているすべての製造業者が、2020 年以降の新しい労働改革へのコンプライアンスが重大な課題であったと回答しています。この結果は、製造業界がメキシコの新しい労働法制度に適応する上で直面している困難の深刻さを如実に示しています。

社内専門知識の不足が進出の大きな障害に

最後に、（まだ）メキシコで事業を展開していない製造業者に、国境を越えた国際展開を控えている理由について尋ねたところ、ほぼ半数（47%）がメキシコでの事業運営に関する社内専門知識の不足を理由として挙げました。これは極めて注目すべき統計で、特に雇用主全体のわずか 13%しかこれを重要な拡大の障壁と感じていないことを考えると非常に意義深い結果です。一方、雇用主全体の 80%以上がメキシコへの進出を行わない理由としてリソースの制限を挙げているのに対し、製造業者ではわずか 40%しかそれを障壁として特定していません。つまり、リソース

は存在するかもしれませんが、社内リーダーシップの不足が、製造業者にとって進出の大きな障害と認識されています。この結果は、製造業者がメキシコ進出を成功させるためには、専門的な知識とリーダーシップの強化が不可欠であることを示唆しています。

さらに詳しく

メキシコで事業を展開する製造業者、特に自動車産業に利用可能な変更点と利点の概要を簡単に知りたい方は、[こちらの実用的なガイド](#)をお読みください。

Fisher Phillips チームは、メキシコの労働改革があなたの企業にとってどのように有利に働くかについての具体的な質問に答え、メキシコでの事業立ち上げを効果的にサポートします。詳細については、担当の Fisher Phillips 弁護士、本記事の著者、または[製造業界チーム](#)の弁護士にお問い合わせください。

重要な法的進展についての最新情報を見逃さないよう、[Fisher Phillips Insights](#) にぜひご登録ください。ビジネスの成功に直結する重要な法的情報をタイムリーにお届けします。



Colin P. Calvert

Partner
Irvine
ccalvert@fisherphillips.com



Héctor Cuevas

Partner
Mexico
hcuevas@fisherphillips.mx



Stephen C. Mitchell

Regional Managing Partner
Columbia
smitchell@fisherphillips.com